

2023 年度

【著書】

1. 呂隆徳. フレイル高齢者の関節可動域ケアの指標としての活用ー (共著). 三輪書店
2. 高橋佑弥. 急性期・回復期でおさえおきたい脳卒中作業療法の心得 (共著). メジカルビュー社

【講演】

1. 呂隆徳. オンライン支援を活用したリハビリテーションの可能性. 2023.9.1 第 61 回全国自治体病院学会 in 北海道 札幌市, リハビリテーション分科会シンポジウム
2. 呂隆徳. 外来リハビリテーション. 2024.3.29 第 20 回旭川心臓リハビリテーション勉強会
3. 村岡法彦. 多職種連携における理学療法士の関わり～J-TOP、J-HOPE に参加して～. 旭川患者本位の治療の会 2023.6.20 旭川
4. 村岡法彦. 当院のがんリハビリテーションの取り組み. 腫瘍センターセミナー. 2024.2.29 ハイブリッド, 旭川
5. 塚田鉄平. パラスポーツが築く『未来』. 道北地区特別支援学校養護教諭研究会 講演. 2023.8. 美深町
6. 塚田鉄平. パラスポーツのリスク管理. 北海道教育大学旭川校 講義. 2023.11. 旭川市
7. 塚田鉄平. 各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫. 2023 年度 北海道障がい者スポーツ協会 初級パラスポーツ指導員養成講習 講義. 2023.11. 札幌市
8. 塚田鉄平. 補装具と義足の理解. 旭川市立大学 講義. 2023.12. 旭川市
9. 塚田鉄平. パラスポーツのリスク管理. 2023 年度札幌市障がい者スポーツ協会初級パラスポーツ指導員養成講習 2024.2 札幌市
10. 塚田鉄平. パラスポーツのリスク管理. 2023 年度道北地区障がい者スポーツ指導員初級養成講習 2024.3 オンライン
11. 塚田鉄平. 障がい者スポーツの概要. スポーツ鍼灸マッサージ指導者養成講習会 講義. 2024.3 横浜市
12. 伊東修一. スキー競技における ACL 損傷から他分野連携を考える. スポーツ医学セミナー. 2023.11.1 旭川市
13. 伊東修一. シンポジウム「当院における復職の現状と課題」. 第 8 回日本心臓リハビリテーション学会北海道支部地方会 2023.11.25 旭川
14. 伊東修一. ミニレクチャー: データセット. 道北支部令和 5 年度第 2 回臨床研究支援研修会. 2023.10.24 旭川市 (オンライン)
15. 高橋佑弥, 及川欧. バイオフィードバック技能師資格認定講習会-医学系領域-, 第 50 回バイオフィードバック学会. 2023.6.17-18.
16. 岡村綾子. 小児脳腫瘍患者とその家族への継続的な地域支援の重要性について考える.

2023.10.21 第 10 回小児理学療法学会学術大会 in 北海道 小樽市, 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会合同企画「小児がんの理学療法～現状と課題～」シンポジウム

17. 田中伸吾 障害概論.指導者講習会 2023.1 東京
18. 田中伸吾 障害概論(クラス分け概論). 審判講習会 2023.1 東京
19. 田中伸吾 車いすフェンシングにおけるクラス分け講習会. 2023.2 オンライン
20. 高山拓也, 健康講座「健康長寿とロコモティブシンドローム」. 2023.10.14 旭川市
21. 三田村信雄. Start-up Heart Failure Team～これからの心不全他職種連携の実践～職場における配置転換の提案により復職に繋がられた心不全症例～心肺運動負荷試験の活用～. 2023.4.7 旭川市

【査読付き論文】

1. 村岡法彦, 及川欧, 才田良幸, 池田夢子, 景山研斗, 西谷健太郎, 美馬愛子, 甲谷滉康, 内藤幸輝, 呂隆徳, 大田哲生. COVID-19 に罹患した要介護高齢者へのリハビリテーションの効果. 北海道理学療法 2023; 40:11-17
2. 高橋佑弥, 及川欧, 村岡法彦, 塚田鉄平, 池田夢子, 高山拓也, 林圭輔, 甲谷滉康, 呂隆徳, 大田哲生. COVID-19 患者に関わるリハビリテーション専門職のメンタルヘルスについて. 日本リハビリテーション教育学会 Vol.6 No.1 2023.
3. 池田夢子, 及川欧, 村岡法彦, 塚田鉄平, 才田良幸, 呂隆徳, 大田哲生. 長期人工呼吸器管理となった COVID-19 患者に対するリハビリテーション経過と一年後調査. 日本老年医学会雑誌 60 巻 2 号 184-190
4. 才田良幸, 呂隆徳, 松野直徒, 高山拓也, 中川直樹, 久保靖憲, 高橋裕之, 横尾英樹, 大田哲生. 生体腎移植前後のリハビリテーション治療によって身体機能および QOL が改善したサルコペニアの一症例. 移植 2023; Vol. 58; No. 4.

【学会発表】

1. 呂隆徳, 高橋佑弥, 村岡法彦, 佐藤弘也, 塚田鉄平, 伊東修一, 大田哲生, 理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士における診療記録の質的向上を目的とした監査票の作成, リハビリテーション医療 DX 研究会第 1 回学術大会. 2023.4.22 石垣島
2. 村岡法彦, 呂隆徳, 大田哲生. 進行肺がん患者の治療時期による身体機能と ADL, QOL の関連性, 第 6 回日本がん・リンパ浮腫理学療法学会学術集会. 2023.10.14 福島
3. 塚田鉄平, 及川欧, 千葉伸一, 北海道で夏に開催されたアダプテッド陸上大会の熱中症の一例～知的障がい短距離アスリート～, 第 34 回臨床スポーツ医学会学術集会
4. 高橋佑弥, 及川欧, Rhythmical skeletal muscle tension (RSMT) 変法の検討 – ベーチェット病により上肢機能障害を呈した事例 –, 第 50 回バイオフィードバック学会. 2023.6.17-18.
5. 高橋佑弥, 八木橋史佳, 呂隆徳, 林圭輔, 木下学, 大田哲生. 覚醒下手術における術中課

題の検討ー概要報告ー. 第 45 回国立大学リハビリテーション療法士学術大会. 2023.7.9 東京

6. 高橋佑弥, 呂隆徳, 野坂利也, 及川欧, 大田哲生, 二つの機能を有した上肢義手についてー右前腕部不全切断術後の症例ー, 第 67 回北海道リハビリテーション学会学術集会. 2023.7.29 札幌市.

7. 田中伸吾, 伊東修一, 呂隆徳, 小原和宏, 大田哲生. 車いすフェンシングの攻撃側と防御側の殿部における圧力の違いに関する検証, 第 72 回東日本整形災害外科学会

8. 田中伸吾, 伊東修一, 呂隆徳, 小原和宏, 大田哲生. 車いすフェンシングで使用するクッション素材の違いが競技動作の速さに及ぼす影響, 第 10 回日本スポーツ理学療法学会学術大会

9. 高山拓也, 村岡法彦, 呂隆徳, 大田哲生. 胃がん患者における術後 6 ヶ月での運動耐容能低下に及ぼすリスク因子の検討. 第 10 回日本予防理学療法学会学術大会. 2023.10.26 函館

10. 高山拓也, 村岡法彦, 川原菜々, 林寛将, 甲谷滉康, 橋本直宏, 呂隆徳, 大田哲生. 当院における脳卒中後重度片麻痺患者に対する長下肢装具の使用状況. 旭川地域脳卒中地域連携研究会. 2023.10.31 旭川

11. 吉田圭佑. 体圧測定機器で評価をし、最適なマットレスを選定できた一例. 第 48 回日本重症心身障害学会学術大会. 2023.10. 千葉県

12. 景山研斗, 村岡法彦, 呂隆徳, 及川欧, 大田哲生. 外来リハビリテーション継続により社会復帰が可能となった重症 COVID-19 の一症例. 第 45 回国立大学リハビリテーション療法士学術大会. 2023.7.9 東京

13. 八木橋史佳, 高橋佑弥, 呂隆徳, 林圭輔, 木下学, 大田哲生. 覚醒下手術における術中課題の検討ー症例報告ー. 第 45 回国立大学リハビリテーション療法士学術大会. 2023.7.9 東京

14. 美馬愛子, 呂隆徳, 伊東修, 才田良幸, 石見千沙都, 大田哲生. リハビリテーション中のインシデントに関する要因は何か?ー「転倒・転落, チューブトラブル」と「環境要因, 患者要因, 医療者要因」の関係性ー. 第 45 回国立大学リハビリテーション療法士学術大会. 2023.7.9. 東京

15. 甲谷滉康, 村岡法彦, 呂隆徳, 大田哲生. リハビリテーション治療継続により ADL や精神機能改善に功を奏した高齢膠芽腫の一例, 老年医学会第 34 回北海道地方会. 2023.10.14 札幌

16. 甲谷滉康, 村岡法彦, 林寛将, 呂隆徳, 大田哲生. 膠芽腫患者の転帰別の特徴, 第 6 回道北理学療法学会学術大会. 2024.1.28 旭川

17. 渡邊安紀, 村田絵吏, 大田哲生. 末梢神経障害により急激な ADL 低下を来した多発性骨髄腫患者に対する短期間での退院支援. 第 12 回日本がんリハビリテーション研究会. 2024.2 静岡

18. 吉田雄太, 伊東修一, 呂隆徳, 石田健一, 大田哲生. 股関節離断後早期に歩行獲得できた症例.第6回道北理学療法士学術大会.2024.1.28 旭川市